

新潟が生んだ日本の味 元祖柿の種~の缶

柿の種の秘話

今から遡ること80有余年前、金型をうっかり踏みつぶしてしまった事から、イビツになったあられが出来てしまい、そのあられをもって商いをしていたところ、商い先の主人から『形が柿の種に似ているので柿の種と名付けるのが宜しかろう』といわれ『柿の種』の名前が誕生しました。

80有余年の伝統と変わらない缶のデザイン

『元祖柿の種』作り続けて80年の味と伝統が、米どころ越後を代表する米菓として、贈答品、お土産品として喜ばれる由縁となりました。化粧缶は昭和初期の農村のお米の収穫期頃の牧歌的（のどかな）風景をデザインしたもので、中身の柿の種とあいまって浪花屋のトレードマークとしてご好評をいただいております。



藍「ねえ 先日新潟の温泉に日本海の夕日を見に行ったの」

桜「日本海に沈む夕陽ってロマンチックでしょ」

藍「そう 彼と一緒にだったからよけいにジーンときたわ」

桜「ごちそうさま」

藍「あなたの お土産に元祖柿の種買ってきたからご機嫌直して」

桜「ありがとう！ 缶入りのお菓子って 湿気ないし われないし

保存に最適よね 昔から変わらないこのデザイン レトロ感があって私好きなのよ」

藍「喜んでくれてありがとう 私も缶の中に手をいっぱい

伸ばしてつかんだ小さな幸せ あの夢ある感触は今でも残っているの

実は私の彼も柿の種が好きなのでビール飲みながらいつも一緒に食べるのよ」

桜「食べ終わった後 私 大切な秘密を缶の中にそっと閉まっておこつと」

協力／浪花屋製菓株式会社
杉浦製罐株式会社